

2017年度 第1回 順天堂大学医学部附属順天堂医院
医療安全に関する外部監査 実施報告書

日 時：2017年4月27日（木）14：00～15：15

場 所：C棟5階 カンファレンスルーム

来訪者：東京都医師会会長：尾崎 治夫 様

公益社団法人日本精神科病院協会指定弁護士：浅田 眞弓 様

株式会社ファーストリテイリング 社外取締役：村山 徹 様

対応者：院長：天野 篤

医療安全管理責任者：川崎 誠治

医療安全推進部部长：小林 弘幸

事務部部长：米澤 和彦

医薬品安全管理責任者：佐藤 邦義

臨床工学技士長：中村 昭也

医療安全管理室：室長：川崎志保理、医療安全管理者：櫻井順子、事務員：金子真弘

タイムスケジュール

1) 概要説明と出席者紹介	14：00-14：10
2) 業務状況報告	
①医療安全管理室業務状況報告	14：10-14：30
②医療安全管理委員会業務状況報告	14：30-14：40
③医薬品安全管理責任者業務状況報告	14：40-14：50
④医療機器安全管理責任者業務状況報告	14：50-15：00
3) 監査委員からの講評	15：00-15：15

監査結果

(評価項目)

- ・医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者など（医療機器安全管理責任者）の業務状況は概ね良好であり、他施設の模範となるようにさらなる取り組みを期待している。
- ・RM小委員会の構成員が多職種から成り立っていることは評価に値する。
- ・ポケットセーフティマニュアル等が毎年必ず更新されていることに、感銘を受けた。

(提言項目)

- 通常、企業では可能な限り判断基準を明文化しようとしします。判断基準の善し悪しが業務品質、更には経営品質に結び付くからである。インシデントやアクシデント発生時の上申する判断基準を明文化していただきたい。
- 医療安全に関してシミュレーション教育を導入し、順天堂医院が先進的な働きかけを行うことを期待したい。
- 新しい機器を導入する場合は、生産性が必ず落ち、その後上がっていく。必ず谷がありその時にどう過ごすのかが重要である。特に命に関わる機器を新しく導入した際の流動管理は重要であり、病院全体で取り組んでいただきたい。
- 医療安全に関する研修を実施しているが、医師の参加率、履修状況は決して高くないと思われる。その状況を打開していくことが今後の課題だと考える。

以上